

平成24年 第3回

京田辺市議会定例会  
一般質問通告書

京田辺市議会

# 平成24年第3回 京田辺市議会定例会 一般質問通告書目次

通告順位	議員名	ページ
1	次田典子	1
2	南部登志子	3
3	小林喜代司	4
4	櫻井立志	5
5	喜多進	6
6	増富理津子	8
7	河田美穂	10
8	塩貝建夫	12
9	上田毅	13
10	水野恭子	14
11	青木綱次郎	16
12	市田博	18
13	岡本茂樹	19
14	米澤修司	21
15	鈴木康夫	22
16	岡本亮一	24

**1 悪化している経済状況と公的扶助のあり方について**

- (1) 生活保護、就学援助受給の実態と今後の予測はどうか。市長の認識も問う。
- (2) 生活保護申請時の対応や説明方法について。
- (3) ケースワーカーの充実を図るべきだ。
- (4) 定住外国人に対して適切な対応ができているのか。

**2 教育委員会に問う**

- (1) 市内の小・中学校の不登校の実態と、ポットラックの利用状況について。
- (2) 定数割れしている市立幼稚園を魅力あるものに変えるべきだ。
- (3) 市内小・中学校におけるいじめの実態と対応について。
- (4) 熱中症予防のため、運動会を5・6月ごろに変更してはどうか。検討ぐらいはすべきだ。
- (5) 文化ホールの必要性を教育委員会は認識しているのか。
- (6) 子どもたちが科学や生命の不思議に出会い、感動していくような科学館やプラネタリウムをつくっていくことも考えに入れよ。

**3 脱原発を実現するために**

- (1) 原子力発電所をなくすためには、市長の積極的な取り組みが必要だが、どう考えるのか。
- (2) 滋賀県などで原発事故がおきた時のためにヨウ素剤を確保しているが、市としても市民の命を守るため、ヨウ素剤の確保を行い、また府にも要請せよ。

#### 4 喫煙をなくす取組みについて

- (1) 喫煙室が2か所設けられているが、職員専用は廃止せよ。
- (2) 健康推進計画策定の意義を尊重し、喫煙者を減らす取組みを行うべきだ。

**1 災害対策について**

- (1) 8月14日の大雨による被害の市内状況について問う(道路、河川、側溝、下水道、農業用水、公共施設、民家、田畑等)。
- (2) 当日早朝の被害であったが、職員配置は適切・迅速に行えたか。
- (3) 今後の対策及び課題について問う(職員配置を含む)。

**2 普賢寺地域について**

- (1) 少子化対策について問うとともに、Uターン制度やIターン制度導入の考えについて問う。
- (2) バス路線休止地域に対して、公共交通タクシーの導入を。
- (3) 8月14日の大雨で普賢寺小学校前の河川に架けられていた橋が流された。住民によって架けられた橋であったが手すりなどがないなどの理由で以前から架替えの要望もあった。子どもたちが通学に使用している橋でもあったので、再架設が望まれるが市の見解は。

**1 一級河川の天井川である天津神川の整備について**

市内の天井川整備の中で天津神川は、昭和43年頃に河床のコンクリートを施工されて以来、新たな整備は全く実施されていない。

しかし、上流地域は大きく開発されてきている中で、流域の多くの市民の方から整備を要望される声が多く出てきているが、市民の安全確保のために、河川管理者である京都府とどのような協議をされているのか。

**2 JR片町線の整備、輸送力増強について**

JR片町線の輸送力増強について、始発・最終列車を市の中心であるJR京田辺駅までの延長営業運転を、利用する多くの市民の方から強く要望されている。

一部列車の繰下げ、繰上げ運転は実施されたが、始発・最終列車の営業運転は実施されていない。

現在、JRでは来年3月のダイヤ改正にむけて、新ダイヤの素案を検討されているが、多くの市民の要望を市は、どのようにJRに伝えられているのか。

また、信楽街道、第2和井田、久保の各踏切りの整備の見通しは。

**3 近鉄新田辺駅西口地域の防犯対策について**

市の玄関口である近鉄新田辺駅西口地域の防犯、安全対策として、防犯カメラを6台設置され、新たにJR京田辺駅東口地域に2台設置される予定である。

また、駅前交番管内の防犯推進員を27名に増員され、市民協働防犯ステーションも設置されたが、現在の状況と今後の対策について。

**1 市民へのサービス向上について**

- (1) 本市における住民基本台帳カードの普及率はどうか。利用促進する為の啓発をすべきと考えるが。
- (2) コンビニにおける証明書等の自動交付を導入し、夜間や休日でも利用しやすく、市民の利便向上を図るべきではないか。
- (3) ジェネリック医薬品利用促進通知サービスを実施し、本市の医療財政健全化と市民の医療費負担の軽減を図るべきではないか。

**2 市民の安心・安全の救命・防災対策について**

- (1) 万一の災害や急病に備え、高齢者などへの救急医療情報キットの配布を実施すべきではないか。
- (2) 災害発生時の初期活動及び道路渋滞や消防車進入が困難な地域に効果が期待される消防バイクの導入を図るべきではないか。
- (3) 救急搬送の際に言葉の通じ難い外国人への対応として、松原市などで利用されている救急車に音声翻訳装置の配備をしてはどうか。
- (4) 京都府では、本年9月から府南部にもドクターヘリの運用が開始されたが、本市の対応について問う。

**3 再生可能エネルギーの推進とエコ対策について**

- (1) 今夏の電力不足で、市民の関心が大変高まってきている。本市において、節電・省エネへの取組みを支援するため、「省エネナビ」などの簡易な消費電力測定機器の無料貸出しを行ってはどうか。
- (2) 民間資金の活力や市民協働による太陽光発電システムを公共施設の屋上などへ設置する屋根貸し事業を導入し、再生可能エネルギーの普及に努めるべきではないか。

## 1 安心・安全なまちづくりについて

- (1) 天津神川治水対策について、調査費として500万円を計上していただいたが、天津神川への流水量を抑制する方策の検討を実施すると聞いている。今後の予定を問う。
- (2) 山手幹線（興戸地蔵谷橋～市道薪新田辺線畠橋交差点までの区間）に道路照明施設を設置する方向性が示されているが、今後の予定を問う。
- (3) 手原川西側（刃宮橋～薪畠橋）の通学路の舗装について、京都府と協議・調整すると聞いている。その後の予定について問う。
- (4) 同志社山手地区と南部の拠点である南田辺三山木駅前線の供用開始について今後の予定を問う。
- (5) 府道八幡木津線と市道薪薊線の北側の角に野小屋と電柱があり、非常に見通しが悪く危険である。撤去か1mほどさげていただきたいと考えるが、対策はないのか問う。
- (6) 一休寺周辺の開発について、現在、開発業者二社による第二次開発が進行中であるが、雨水を手原川に流されると思うが、現在でも排水路からふき出ている。今後の市の考えと業者指導について問う。
- (7) 府道八幡木津線薪茶屋前交差点改修の進捗状況と、府道八幡木津線の大型車の通行規制について問う。
- (8) 水取バイパス開通後の旧道の大型車の交通規制について問う。

## 2 心にうるおいのあふれるまちづくりについて

- (1) 本市のシンボリックな里山である豊かな緑が残る甘南備山のナラ枯れについて、昨年度と今年度で、道路沿いの枯木伐採等を行っていただいておりますが、全体を見ると非常に多くの枯木が見られるが、もっと市としての対策はないのか問う。
- (2) 手原川から甘南備山に至る遊歩道整備の進捗と、甘南備山への車での



喜多 進

入山者が増加し、地元の農業者とのトラブルが増えている。甘南備山への市道井手甘南備山線での待避場所の確保について問う。

### 3 京田辺の未来をささえる人づくり

南部住民センターの設置計画について問う。

### 1 餓死・孤立死と生活保護について

今年に入り、全国で餓死・孤立死が相次いで起き、社会問題となっている。原因究明、再発防止策の調査の中で、生活保護を求めていたにも関わらず、拒否され命を失っている事例が後を絶たない。ところが国は、財政悪化と生活保護の利用者が増えたことを口実に生活保護基準の引下げを検討している。

- (1) 餓死・孤立死の問題と生活保護制度について市長の認識を問う。
- (2) 就労支援についての考えと現状について問う。
- (3) 家具什器費の改善と助成制度を。
- (4) 申請相談ができる相談室の確保、個人情報を守るカウンターの改善を。
- (5) 職員の増員でケースワーカーの対応件数の緩和をし、適正な保護業務を。

### 2 誰もが安心して利用できる介護保険に

今年の4月から第5期介護保険事業が始まり、保険料は25%引き上げられ、多くの年金暮らしの高齢者に厳しいものとなっている。ところが反対に「訪問介護」の時間区分の見直しが行われ、高齢者の生活を支えるはずの介護保険の中心部分が切り縮められてきていることは重大である。

- (1) 介護保険料、利用料の負担軽減を。
- (2) 訪問介護サービスの「時間区分変更」の現状と問題点について問う。  
生活援助の「時間短縮」の影響はどうか、実態把握を。

### 3 学校教育について

- (1) 「いじめ」から子どもを守る、「いじめ」のない学校づくりへの教育長の考えを問う。
- (2) 不登校児童への対応と対策について。
- (3) 小・中学校の大規模改修を含む整備改修計画について。
- (4) 通学路の安全対策について。
- (5) 通学路の実態調査を行い危険箇所を把握し、関係機関とも協議し、早急に安全対策を講じると6月議会での答弁にあったが、その後の進捗について問う。

**1 いじめ問題について**

- (1) 文部科学省から「いじめ問題に関する緊急調査」の依頼が出されたが、本市の対応は。
- (2) どのようにすれば、今いじめで苦しんでいる子どもたちを救えると考えているのか(声なきSOSに、どのようにすれば大人が気付けると考えるか)。
- (3) いじめに気付いているけれども、言い出せない子どもたちにどうすれば協力してもらえると考えているのか。

**2 防災対策について**

- (1) 「自助」の大切さを考えてもらうため、市で「家族防災会議の日」を定めてはどうか。
- (2) 避難所運営の体験型訓練「HUG」(H = 避難所、U = 運営、G = ゲーム)を導入すべき。
- (3) 小・中学校で避難所の開設から運営までの実践的な訓練を市職員と地域住民と一緒に実施すべき。

**3 読書の推進について**

- (1) 小1・中1の入学時に本を贈る「セカンドブック・サードブックプレゼント事業」を実施すべき。
- (2) 小・中学校の朝読書の時間の充実をはかるべき(保護者による読み聞かせなど)。

**4 市民議会の開催について**

河田 美穂

あらゆる年代層の広聴を充実させるため、子ども議会、青年議会、ヤングママ議会、壮年議会などを議場で開催するなど試みてはどうか。

## 1 TPP参加問題について

TPP参加は、日本経済、地域経済のあらゆる分野に多大な悪影響を及ぼすと懸念されている。そこで、以下、市長並びに農業委員会会長の基本認識を問う。

### (1) 市長に対して

ア TPP参加は、京田辺市の経済、暮らしのあらゆる分野に影響を及ぼすことについて。

イ 介護、医療分野への影響について。

ウ 食品安全基準の影響について。

エ 政府調達（地方自治体含む）分野の影響について。

オ 農業、食糧分野の影響について。

### (2) 農業委員会会長に対して

ア 農業、食糧分野の影響について。

イ 京田辺の特産品、とりわけお茶などへの影響について。

### (3) TPP参加に対する市長、農業委員会として、政府に対して明確な「反対」の意見表明を。

## 2 学校給食と地産地消の推進について

### (1) 学校、保育所給食の食材の地元産食材をさらに拡大するための方策について、

ア 玉ねぎ、じゃがいも、なす、白菜、大根などの地元産食材は20%前後であり、さらに拡大を。

イ 市内のお茶を学校へ導入することができないか。

### (2) 給食の牛乳について

ア 子どもの健康に本当に良いのか。

イ 給食の牛乳一律提供を見直してはどうか。

**1 市有地と民地との境界に係る問題点について**

個人財産である不動産について、民地であるにもかかわらず勝手に道路敷きとなっているところが何か所がある。どのような扱いをしているのかを問う。

**2 椋鳥問題について**

近鉄新田辺駅前の椋鳥について再々度とりあげたが、未だ一定の効果があったとは思えない状態があきらかになっている。

市として、この状態をどう捉えているのかを問う。

**3 大津市の中学校いじめ問題から市として考えることは**

教育委員会と学校側そして生徒と保護者との連携が図れていないと痛感したが、京田辺市としてどの様に考慮しているのかを問う。

**4 京田辺市の振興活性化について**

中央公民館の老朽化に伴い、建替えの際には様々な用途に適する建築物の設計を考えるべきである。

文化ホールにも適する物であること、そして宿泊施設も併用すべきと考えるがいかがか。

## 1 実効性ある地球温暖化対策実行計画を

地球温暖化による様々な影響は、気温が上昇するだけでなく、くらしや社会、経済のすべてに影響が出ている。この危険な地球温暖化を防止するため、本市も今年度から、市民をはじめ事業者も含む地球温暖化対策実行計画が進められるが、実効性ある計画策定を進められるよう市長の認識を問う。

同時に以下についての計画を問う。

(1) 計画の目的と温室効果ガスの削減目標はどうするのか。

(2) 計画の期間は、中、長期と設けるべき。

(3) 基本方針として

ア 原発は温暖化対策にならない、まず、その決断が大事。市長の認識を問う。

イ 再生可能エネルギーの利用促進のための調査や問題点の明確化。

ウ 太陽光発電システムの設置について、家庭における導入への助成拡大と設置目標。公的施設への設置目標。

エ 市民、事業者の活動促進について、省エネに向けた取組みの支援を。

オ 地域環境の整備及び改善を。

公共交通の利用促進、自転車利用、ヒートアイランド対策等。

カ 循環型社会の形成を。

ゴミ減量化、バイオマス資源の利用、雨水タンクを小・中学校に設置と市民への啓発と助成、地産地消等。

(4) 計画の推進のため、市に政策チームの配置と環境審議会の設置を。

## 2 福祉のまちづくりを

(1) 視覚障がい者の外出を保障するため、山手幹線京都銀行大住支店前の交差点に音響式の信号設置を。盲導犬利用者への飼育費用への助成、盲導犬を扱うための必要な犬具への支援を。



水野 恭子

(2) JR松井山手駅前に障がい者の一時駐車場の設置を。

(3) 軽度・中等度の難聴児への補聴器への助成を。

### 3 平和施策について

(1) 小・中学生の広島派遣事業の継続を。

(2) 戦争体験者の記録の保存を。

(3) 平和市長会議が取り組む「核兵器禁止条約の早期実現を求める署名」の取組みの強化を。

## 1 新名神高速道路の建設に関わる諸問題について

- (1) 4月、政府は従来の方針を転換し「当面着工しない」としていた新名神大津城陽間、八幡高槻間について凍結解除を打ち出したが、不要不急の大型公共事業を復活させるものであり、撤回すべきと考える。市長の見解を問う。
- (2) すでに着工されている新名神城陽八幡間について、今回の「凍結解除」によって完成後の交通量の見通しも変化すると考えられる。したがって同区間でも改めて、周辺住民の生活や環境に与える影響について調査し、地元への説明と必要な対策をとることが求められる。よって京田辺市として、そのことを政府及びネクスコ西日本に対し申し入れることを求める。
- (3) 新名神城陽八幡間について、防音壁の設置や、大雨に備えた調整池の整備などが必要になる。またそれらについて、周辺住民と丁寧な協議を行い誠実に対応するよう、京田辺市として政府及びネクスコ西日本へ申し入れることを求める。
- (4) 新名神城陽八幡間の開通に向け、木津川にかかる通称「100円橋」の通行無料化に向け取り組むよう求める。

## 2 8月半ばの大雨被害の状況と、松井地域の浸水対策について

- (1) 8月14日早朝の京都府南部を襲った大雨によって、京田辺市で生じた被害はどのようなものか、明らかにされたい。
- (2) 被害を受けた市民への支援制度をつくるとともに、家庭に排水ポンプを設置する際には補助するなど、住宅への浸水被害を防止するための対策の充実を求める。
- (3) 松井地域では集落内の水路が増水し、床上、床下の浸水被害が発生した。その原因について、市はどのように考えているのか。また今後、同

地域での浸水被害を防ぐための対策について問う。

- (4) 新名神城陽八幡間の建設工事のために、今回、大量の土砂が流出したことが考えられる。工事期間中の土砂流出防止策の徹底を政府及びネクスコ西日本へ申し入れることを求める。

### 3 特別養護老人ホーム新設の見通しについて

今期の高齢者保健福祉計画では、特別養護老人ホームを新たに開設することが盛り込まれている。その具体的な状況、今後の見通しについて問う。

### 4 現在の雇用情勢・労働環境と本市における人材育成について

**1 第三次総合計画策定後6年余り経過したが、進捗状況と現状について**

- (1) 本市の目指す都市像に向け、将来見通しの都市フレームである将来人口8万人の目標は達成できるのか問う。
- (2) 基本計画では計画の進捗等を踏まえ23年度に一定の見直しをするとあるが、27年度の達成見通しについて問う。
- (3) 市長は今後、京田辺市をどのような街にしようとしているのか、2期目の中盤を迎え市長の市政に対する展望を問う。

**2 本市北部のJR松井山手駅周辺の今後の展望について**

- (1) 松井山手地域周辺での、今後の人口増加が3,000人~4,000人規模の想定と聞くが、本市ではどのような計画で進めようとしているのか問う。
- (2) JR学研都市線や第二京阪道路を有効活用して、JR松井山手駅周辺での新たな商業施設の建築や大型店舗進出予定計画について問う。

**3 人口フレームを8万人想定から、将来目標を10万人に設定しては**

- (1) 本市にあるJR5駅・私鉄4駅の周辺を生かした活力ある質の高い、市街化整備を計画し持続的な成長を図りつつ、自然環境と調和し自立性の高い都市づくりを目指すためには、法的な縛りを緩和し土地の有効活用をできるよう提案する。市長の考えを問う。
- (2) 同志社大学の文系学部が京都市へ移転し、また大住工専地域における既存企業の転出移転の代償は、税収や活力あるまちづくりを進める上で影響が大きい。早期の工専拡大等々の積極的な施策が必要と考える。市の考えを問う。

**1 府道から市道に移管される予定の「富野荘八幡線」の整備状況について**

- (1) 市道への移管にかかる、京都府との覚書内容について明らかにされたい。
- (2) 大住地域各自治会からの主たる要望内容とそれぞれの具体的達成度はどうか(特に、生活道路や通学路としての安全対策の進捗状況について)。

**2 新名神着工に伴う諸課題について**

- (1) 防賀川の拡幅と上流のしゅんせつについて。  
集中豪雨時における防賀川下流の逆流などによる溢水問題(あふれること)を解決するために、防賀川のしゅんせつや拡幅が検討されていると聞き及ぶが、具体的な進捗状況はどうか。
- (2) 松井地域の農業用水の確保について。  
新名神の工事に伴い、農業用水池が役割を果たせなくなると聞かすが、工事主体者との協議内容と経過、進捗状況をお聞かせ頂きたい。

**3 小中学校における「いじめ問題」への対応について**

- (1) 市内小・中学校における緊急の「いじめ問題実態調査」(仮称)について、
  - ア 調査時期と内容を明らかにされたい。
  - イ 現時点における実態はどのようなものであったか。
- (2) 日常的な「いじめ問題」への取組み内容について明らかにされたい(校内・学校と保護者・地域との取組み)。
- (3) 地域住民とどう連携していくのか(学校評議員、自治会等)。
- (4) 携帯メールなどが及ぼすマイナス影響についてどう考えるか。

(5) 大津市や他都市の状況も踏まえて、この課題に対する教育長の決意を述べられたい。

#### 4 芸術文化行政の推進について

(1) 京田辺市における文化振興の理念を確立するために、市民や学識経験者による、仮称「文化振興審議会」の設置ができないか。

(2) 文化振興条例の制定や芸術文化ホールの設置を具体的に検討できないか（昨年6月議会以降の検討経過も含め）。

(3) 「京田辺市の歌」の普及について、どのように考えるか。

**1 小学校給食の民間委託について問う**

- (1) 小学校給食の民間委託によって何がよくなったのか。
- (2) 三山木小学校、大住小学校での具体的な効果は。
- (3) 今後の直営校の体制と求める役割は。
- (4) 来年度の民間委託契約についての考え方は。

**2 公立幼稚園の活性化について問う**

- (1) 今後の公立幼稚園の入園見込み児童数は。
- (2) 公立幼稚園での延長保育の拡充などの活性化策は。

**3 節電対策について問う**

- (1) この夏の節電の取組みと具体的な効果は。
- (2) 今後の節電対策について具体的な考えは。

**4 原発事故発生時の本市の対応策について**

- (1) 事故発生時の本市の対応策は。
- (2) ヨウ素剤の備蓄と子どもたちの服用について本市の考えは。

**1 一人暮らし高齢者対策を問う**

超高齢化社会を迎え、本市でも一人暮らしの高齢者や、二人暮らしでも実態としては独居世帯に近い世帯が多いと考えられる。

- (1) 本市における一人暮らし高齢者と高齢者だけの二人暮らし世帯の実態を問う（ケアを要する方、要しない方の人数、ケアを要する方についてはどのようなケアか）。
- (2) (1)の実態を受けて、地域の民生委員や見守り隊といった人的ネットの大切さに加え、システムとしてのネット、例えば水道・電気・ガスといったライフライン検針網を活用する、あるいはITを活用したネットワークの構築を考える時期ではないか。市の考えを問う。

**2 医療費不正受給の原因と対策を問う**

亀岡市で、マッサージ施術療養費不正受給が発覚し、また、宇治市のNPO法人の介護給付費不正受給が明るみに出た。本市でも相当の被害が出たと聞く。

- (1) 介護給付費不正受給に関する本市の被害の全容、及び同様（類似）の事案はないか。
- (2) 再発防止策として本市としてできることを問う。

**3 本市における自殺予防対策を問う**

自殺予防の一環としても考えられる「ひとやすみコール」が、発足以来、たった1件と報じられた。日本全体では、年間約3万人もの尊い命が自殺というかたちで失われている。そこで、

- (1) 本市の「自殺」の実態（件数と原因）を問う。
- (2) 原因を踏まえての有効策を問う。



#### 4 留守家庭児童会の高学年夏休み受入れ結果は

- (1) 今夏実施された、松井ヶ丘、大住両留守家庭児童会の評価を問う。
- (2) 次年度以降に向けての方向性、具体的には、
  - ア 夏休みに加え、1年通期にわたって高学年受入れの実施
  - イ 松井ヶ丘、大住以外の地区にも夏休み受入れを展開
  - ウ ア・イの混合型などが考えられるが、教育委員会の今後の方針・計画を問う。

#### 5 八幡市飛地対策に対する本市のリーダーシップに期待する

- (1) 道路接続に関し、生活道路ではなく準幹線に接続するという発想を持ってないか。
- (2) 現状のまま「飛地」であれば、未来永劫、将来にわたって八幡、京田辺市、住民全てにとって、望ましい姿と思えない。打開のために理事者の考えを問う。

### 1 住宅リフォーム助成制度について

東日本大震災以降、市民の防災や耐震化への関心は高まっている。本市では、耐震改修助成や、バリアフリー改修助成など行っているが、なかなか進まないのが現状である。幅広い工事に適用できる住宅リフォーム助成制度を実施することにより、耐震化への呼び水となることはもちろん、地域経済活性化や住環境向上を図ることができると思うがどうか。

### 2 京田辺市南部地域のまちづくりについて

市南部地域は、三山木地区特定土地区画整理事業や同志社山手のまちびらきに伴い、子育て世代が急増し、高齢者世代まで幅広く在住している。多様化するニーズに対応するためにも、市南部地域において中核施設が必要であると思う。

- (1) 南部地域の市民活動の活性化や、文化活動などの拠点機能を備えた南部住民センターを建設すべきと思うがどうか。
- (2) 南部地域における救急救助体制の強化として、南部消防出張所を建設すべきと思うがどうか。
- (3) 三山木保育所の新築移転計画が発表されたが、開所までの間の現在の三山木保育所の対応について問う。

### 3 鳥獣被害について

- (1) イノシシとアライグマによる被害を受けた作付面積及び捕獲数は。
- (2) 自衛隊祝園弾薬庫周辺の金網設置の進捗状況は。
- (3) 有害鳥獣防護柵設置補助金による防止効果と今後の対策は。
- (4) 京田辺市民で、他府県にまたがり農地を所有している方への対策は。
- (5) JR三山木駅高架下にハトが飛来し、通行人や駐輪場利用者に被害を

岡本 亮一

与えているが、これまで本市が講じてきた防止対策及び今後の対策は。